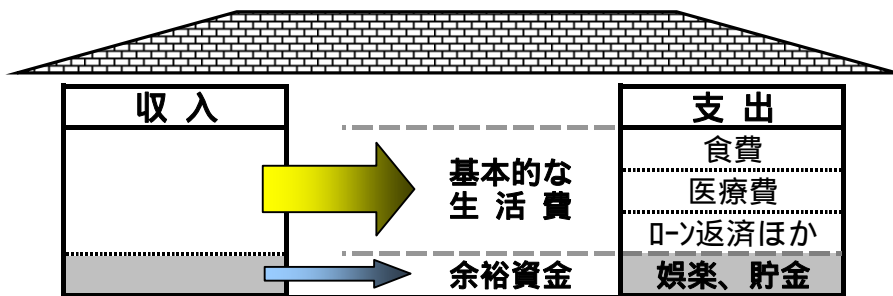


～ 経常収支比率が悪化 100.1 100.9% ～

経常収支比率とは

一般家庭に例えると

一般家庭の家計で、給料のほとんどを食費、医療費、教育費、光熱水費、ローンの返済など基本的な生活費の支払いにあててしまうと、趣味・娯楽、貯金などにお金を使う余裕がなくなります。



市の場合

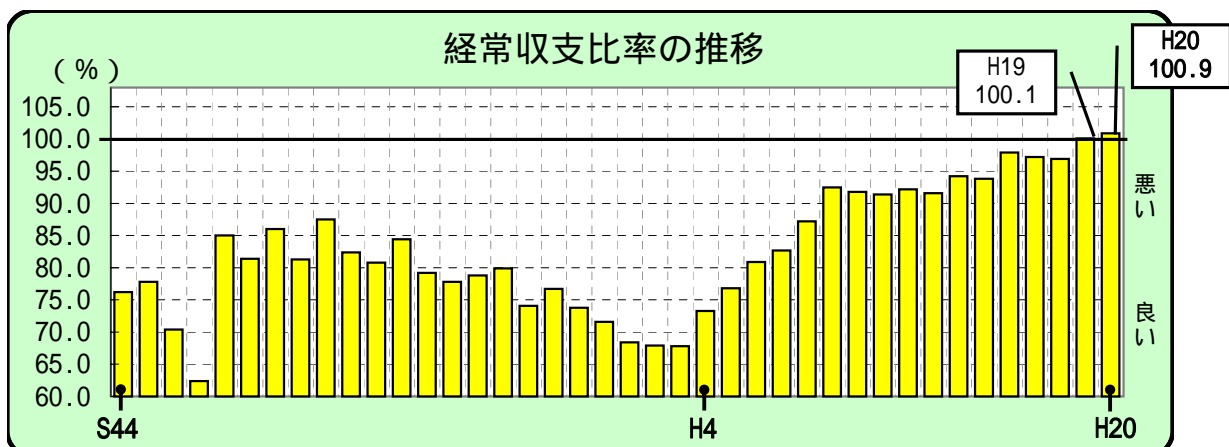
市の会計でも同じことが言え、その余裕の度合いを見る指標が**経常収支比率**です。経常収支比率は、人件費、扶助費(生活保護費など)、公債費(借入金返済)など毎年決まって必要な経費(経常的な経費)に、市税など経常的な収入をどの程度充当しているかを示します。

都市では75%程度が妥当とされていて、この値が大きくなればなるほど、臨時的な経費に使えるお金が少ないことを意味します。

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{経常経費充当一般財源 (支出)}}{\text{経常一般財源 (収入)}}$$

経常収支比率の推移

下のグラフのとおり市の経常収支比率は、平成4年度以降上昇を続け、平成19年度は、統計が残る昭和44年度以降初めて100%を超え、**平成20年度は100.9%に悪化**しています。



平成20年度の悪化

(支出) 経常経費充当一般財源が減少し比率の引き下げの要因となりましたが、(収入) 経常一般財源の大幅な減少がこれを打ち消し、さらに前年度より悪化させる要因となりました。

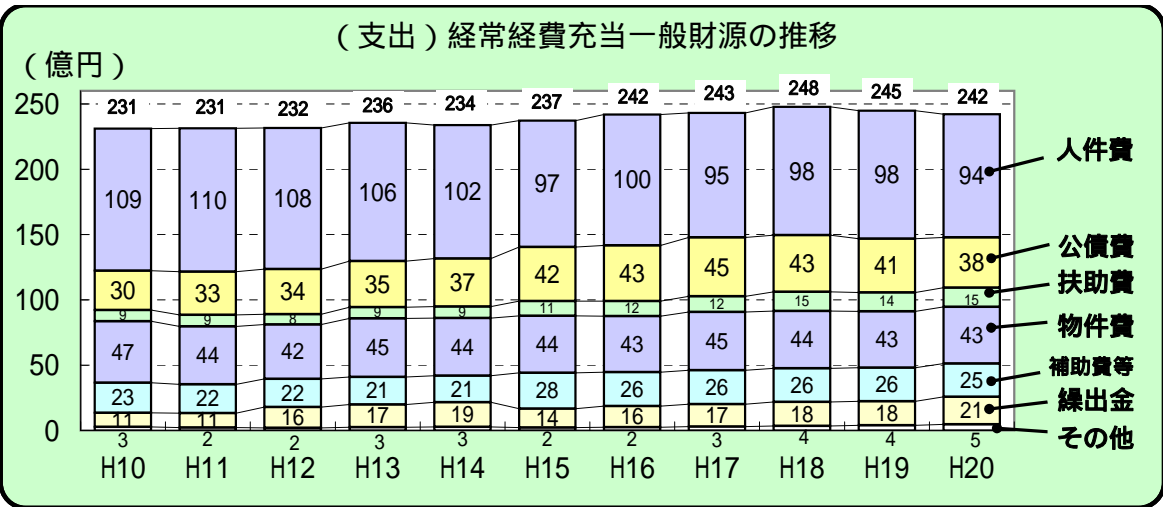
(支出) 経常経費充当一般財源

当市の特徴

類似団体と比較して施設数が多いことから、その運営に係る職員の人件費や維持管理経費(物件費)が高く、生活保護費などの扶助費の割合が低い。

<<< 平成20年度の増減 >>>

介護保険事業に係る経費(繰出金)の著しい伸びなどがあったものの、人件費が職員給の抑制等により減少、公債費(借入金返済)が返済のピークを越え減少したことなどにより、全体として前年度より減少しました。



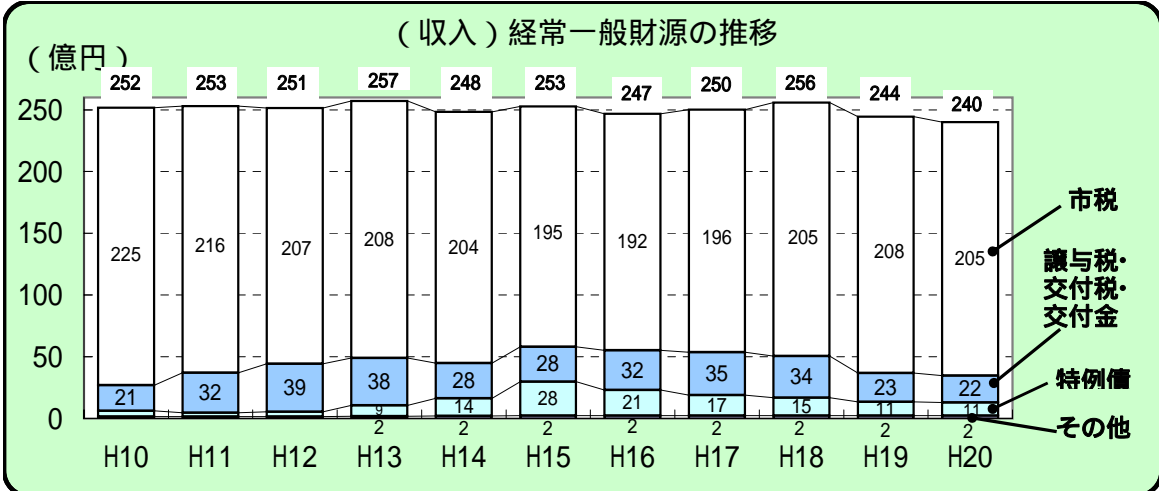
(収入) 経常一般財源

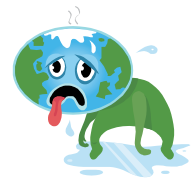
当市の特徴

市税が歳入の根幹となっており、特に個人の高い担税力に支えられています。

<<< 平成20年度の増減 >>>

秋以降の世界同時不況に伴う急激な景気後退の影響を受けて、市税をはじめ、経済情勢に左右される配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金等が減少したことなどにより、全体として前年度より大幅に減少し、(支出) 経常経費充当一般財源の減を上回る減少となり、経常収支比率が悪化する要因となりました。





～ 平成20年秋からの世界同時不況 ～

アメリカ

世界

超低金利

2001年の同時多発テロで混乱した経済を立て直すため、超低金利政策を実施

お金が借りやすい

住宅バブル(サブプライムローン)

***** サブプライムローンとは *****

銀行の通常の住宅ローン審査には通らないような信用度の低い顧客(サブプライム)向けのローンで、低所得者でも家が持てるようにと販売された。

他のローンと比べ債務履行の信頼度が低いのに、格付け会社が中古住宅価格は上昇するだろうと保証を与え、市場が安定

お金を低利で借りて、家を買って運用し利益をあげようとした

住宅ローン会社

消費者にお金を貸し、そのお金を返してもらう権利(債券)を、世界中の金融機関に売却

金融機関

住宅ローン会社から買った債券を、金融商品(証券、転売可能な商品)にして世界中の投資家(証券会社、銀行など)に売却

住宅バブル崩壊

2007年夏頃から
借り手

- ・住宅価値が下落
- ・住宅ローンは、3年目から金利が大幅に上昇する契約

住宅を売る人が増えた

住宅ローン会社

- ・貸したお金が返ってこない(不良債権が増加)

貸し渋りが増えた

投資家

- ・住宅ローン債権を商品化した証券の価格が下落

世界中の投資家が大損失

イラク戦争

2003年イラク戦争が始まり、イラクの原油輸出が止まり、石油精製施設はテロ攻撃の可能性があるため、設備投資をやめる

産油国は、余ったお金を貸し借り(金融市場)以外に、工業製品や農作物などの商品取引市場での運用に拡大

商品市況は上昇、商品のもととなる資源の価格(原油価格等)も上昇

新興諸国の発展

新興経済発展諸国(BRICs(B ブラジル、R ロシア、I インド、C 中国)など)の発展

もともと資源国でもあり、経済発展が加速
余ったお金を運用

アメリカに資金が集中し、一部が不動産市場へ

景気の停滞へ

- ・インフレ(インフレーション)が心配
好景気で、みんなが欲しい量より、商品が少なくなり、商品の値段は上がる(お金の価値が下がる)
- ・食糧危機が心配
石油の代替燃料としてバイオマスエタノール等の開発により家畜飼料である穀物価格が上昇

金利の引き上げ

流通しすぎているお金の量を減らす

アメリカとの金利差が拡大

金利

アメリカ < 各国

アメリカから資金を引き上げ
米ドルの信用下がりドル安へ

世界同時不況

サブプライムローン問題で損をした金融機関は、貸し渋りをするようになり、融資を受けられなくなった企業は、経営が行き詰まり、株価が下落、倒産し、失業者が増え、消費は落ち込んだ